

インフォメーションディスプレイ Vol.15



学校法人
名古屋大原学園
総務統括本部 経理室長
内藤 嘉彦 様

学校法人 名古屋大原学園 様

学校法人大原学園グループとして、名古屋市内と浜松市内にそれぞれ3校、静岡市内に4校の専門学校を持つ、学校法人名古屋大原学園様。各分野に分かれた細やかなカリキュラムのもと、多彩な専門授業と資格試験へのフォローアップで、優秀な学生たちを社会に送り出されています。



所在地:愛知県名古屋市

『PN-455C』とe-Signageで、 授業内容をスマートに 表示できるようになりました。

PN-455C
1台導入
(エントランス)

JR名古屋駅からも、地下鉄国際センター駅からも徒歩圏内。学校法人名古屋大原学園様の名古屋校は、アクセスに恵まれた絶好のロケーションにあります。名古屋校には、大原簿記専門学校、大原法律専門学校、大原トラベル・ホテル専門学校の3校があり、約1,200名(2007年1月現在)の学生が将来の夢に向かってチャレンジ中。それに加えて、夜間や土曜日・日曜日の授業には社会人や大学生が出席し、それぞれのキャリアアップをめざし専門知識の修得に励んでいます。そんな名古屋校の1号館に導入された、『PN-455C』。エントランスで、1日の授業内容とその教室番号が表示されています。



名古屋校1号館のエントランスに導入された『PN-455C』。1号館は名古屋校の本部としての役割を持ち、多くのお客様も来館される。

導入時の評価ポイント

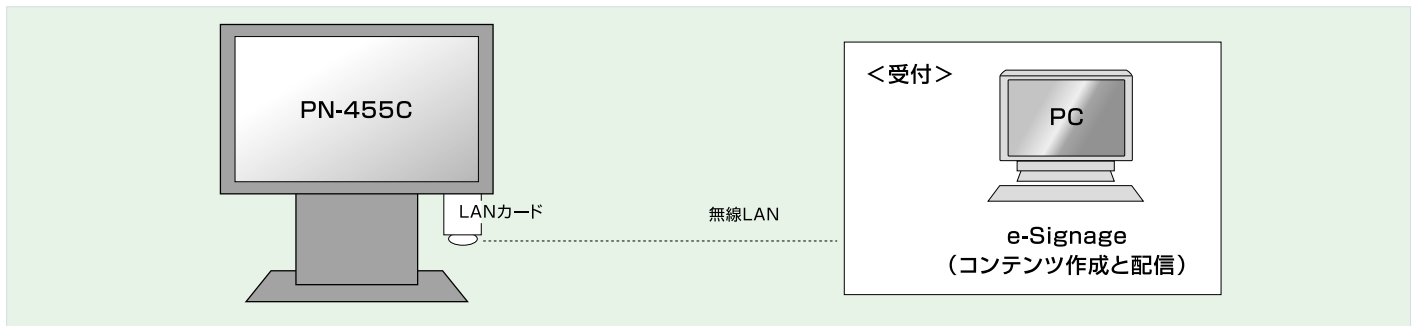
■ エントランスで目を引く、
明るく鮮明な画面による情報発信力

■ 多人数に同時に見せられる、
どの位置からも見やすい広い視野角

■ “世界の亀山モデル”として定評のある、
高い信頼性と安心感のある性能

■ 表示内容を手軽に作成・修正できる、
■ コンテンツ配信／表示システム
e-Signage (イーサイネージ)

■ システム概略図



導入の経緯

案内板づくりの省力化と簡略化を実現するために、『PN-455C』の導入を決定しました。

「学生たちにはホワイトボードを使って、今日はどんな授業がどの教室で行われているのかを知らせています。しかし、この作業がなかなか大変で。毎朝、40分ほどの時間が費やされています。」とおっしゃるのは、名古屋大原学園の内藤経理室長。名古屋校では、3つの専門学校を合わせて7学科32コースが用意されています。それを1号館から4号館まで別々に、授業内容と教室番号が書かれたマグネットをホワイトボードに貼り付けて案内。「何とか効率良く案

内板ができないものかと考えていたところに、ディスプレイの話が出ました。それなら、亀山モデルとして定評のあるシャープ製をと、今回の導入にいたったのです。コンテンツの作成や配信を簡単にできる、e-Signage (イーサインージ)も魅力でした。」

1号館で使用されていた、ホワイトボードとマグネットによる案内板。教室番号を縦軸に、午前と午後の授業内容を左右に振り分けて表示。午後の授業が終了すると、午後6時30分から始まる夜間授業のために手作業で案内板を作り直す。



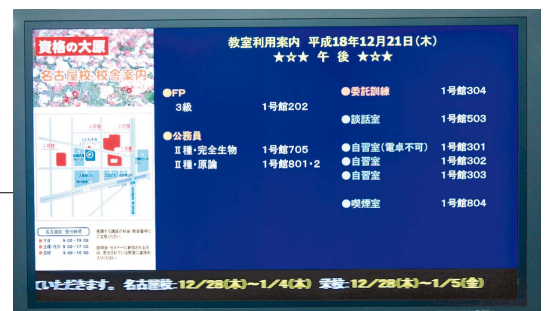
導入後の感想

あらかじめ1週間分の予定を入力し、スケジュール編集で自動表示。

毎日慌ただしく繰り返されるアナログな案内板の準備に比べ、インフォメーションディスプレイなら効率よく作業が行えるメリットも。「現在では1週間分の予定をまとめて入力し、e-Signage (イーサインージ)のスケジュール機能で時間ごとに自動表示するようにしています。」また、明るいエントランスでも画面がはっきりと見やすく、学生たちからの評判も上々だとか。「内容を校正するゆとりも生まれ、急な授業内

容の変更にもスムーズに対応できています。また、お客様が多くいらっしゃる受付のそばに設置しているので、学校のイメージアップにもつながっています。」と内藤室長はおっしゃいます。

e-Signageを使ってコンテンツを作成。『PN-455C』には無線LANでデータが送られる。



教室名が基軸だった案内板に比べ、インフォメーションディスプレイでは授業名が基軸になった。左画面には季節の花をあしらいつつながら、各館のマップを表示。下部は駐車場案内など、学校からのお知らせをテロップで流している。

今後の展開予定

スピーカーを取り付けて、コマーシャルといった動画も流していきたいです。

「インフォメーションディスプレイは1号館にしか導入できていませんので、他の館ではまだ、ホワイトボードとマグネットを使った案内板になっています。これをすべてインフォ

メーションディスプレイに変更していきたいですね。」また、教室案内以外にも、多彩なコンテンツを準備していきたいとのこと。「インフォメーションディスプレイにスピーカーを

取り付け、大原学園のコマーシャル映像も流していきたいですね。また、これからの時代、インフォメーションディスプレイを授業の中でも活用できればと考えています。」

●お問い合わせは シャープ株式会社

情報通信事業本部 ビジネスソリューション事業部
電話：(03) 3260-8217 / (0743) 55-6373

2007年1月発行